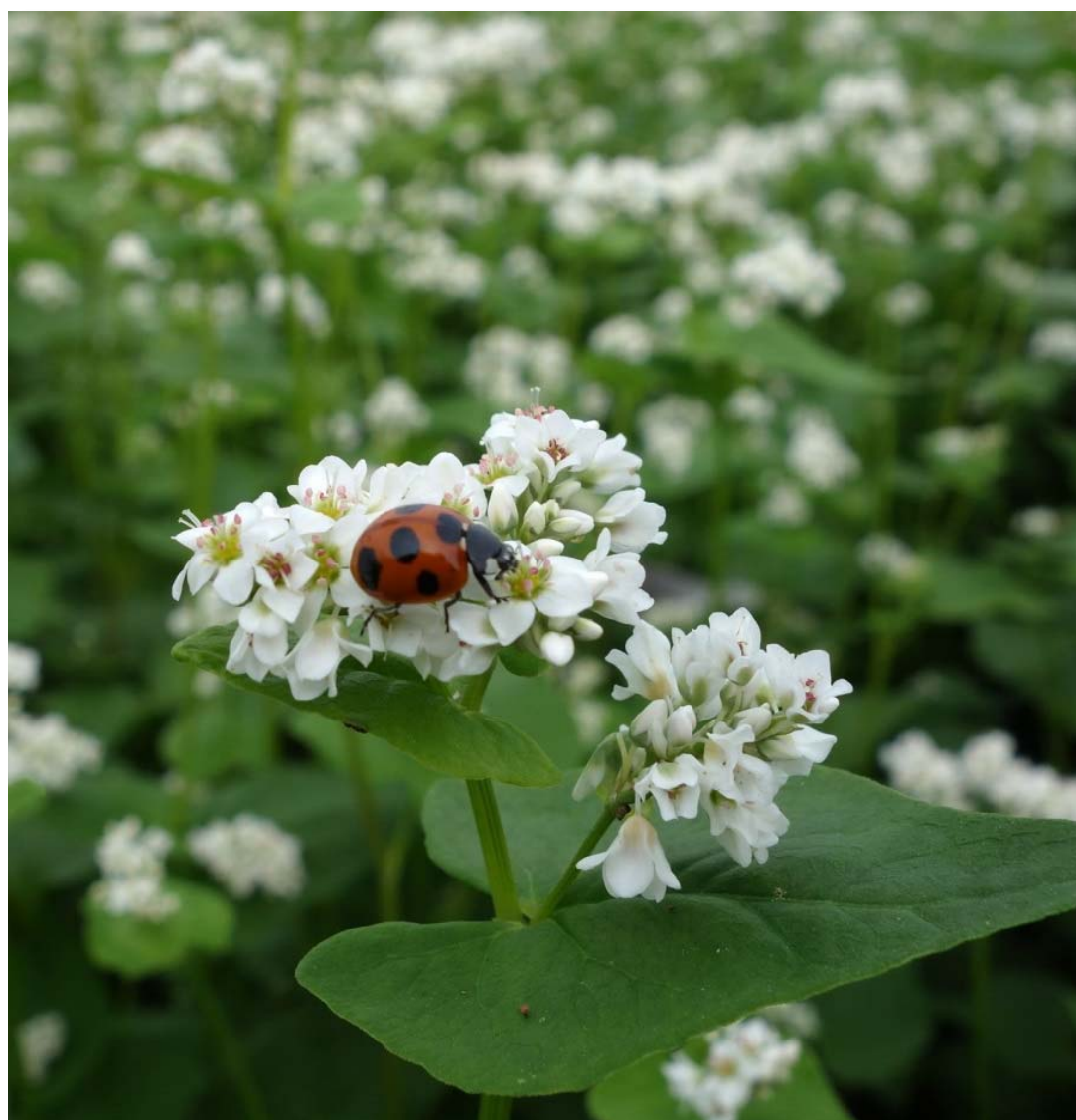


研究成果（品種）リーフレット

# 春のいぶき

夏に香り高い新そばが食べられる  
春まき栽培用ソバ品種



5月に咲く「春のいぶき」の花

九州の温暖な気候に適した新しい地域特産作物です



農研機構



九州沖縄農業研究センター

# 春のいぶき

九州の温暖な気候を生かし、春先に種をまき、初夏に収穫して、夏に新そばを供給できる「春まき栽培」向きのソバ品種です。

## そばの消費が多いのは夏

日本の食生活に欠かせない「そば」は、夏に消費が多くなります。けれども、日本のほとんどのそば品種は秋以降に収穫期を迎えます。つまり、これまでは、夏に新そばの供給は、ほとんどありませんでした。



## 春まき栽培に「春のいぶき」

九州の温暖な気候を生かし、春先に種まきして初夏(6月)に収穫するのが「春まき栽培」。「春のいぶき」は、収穫までの期間が短い春まき向きの品種です。収穫前に雨に会っても種子が発芽すること(穂発芽)が少ない特長もあります。



6月に成熟する「春のいぶき」

## 品質がよく香り高いそば

夏の新そば「春のいぶき」は食味も優れています。適期に収穫すれば、きれいな緑色の「丸抜き」粒が得られ、香りや風味の良い「そば」の原料になります。



「春のいぶき」の「丸抜き」粒

## 各地で6次産業化

「春のいぶき」を利用した「春まき」そば栽培の取り組みは、大分県豊後高田市や、熊本県芦北町など、九州の各地で進められています。「そば」を素材にした、6次産業化も期待されています。



### Tips

沖縄県ではもう一つのそば新品种「さちいずみ」を利用した春まき栽培の取り組みが進んでいます。

## お問合せ先

農研機構 九州沖縄農業研究センター 広報普及室

Tel:096-242-7682 E-mail: q\_info@ml.affrc.go.jp

[www.naro.affrc.go.jp/karc/](http://www.naro.affrc.go.jp/karc/)

九州沖縄農研 | 検索